

目次

はじめに 3

第1章 東京および首都圏の被ばく被害 13

- 首都圏に住む人は、どれだけの放射線を被ばくしたのか？ 15
- 住民にはどの程度の健康被害があるのか？ 17
- 「チェルノブイリでは4000人が死んだ」は事実なのか？ 22
- 放射能で汚染された騒動水を飲んでも大丈夫か？ 26
- 一般のマスクは放射線防護に有効なのか？ 28
- 放射能で汚染された産地の米を食べたらどうなる？ 32
- 汚染地域でとれた牛乳、野菜は危険なのか？ 35
- 海水汚染で海産物は食べられないのか？ 37

第2章 「ドキュメント」3・11から1週間、何が起きていたのか？ 41

- 3月11日 東日本大震災発生 43
- 3月12日 1号機が水素爆発 56
- 3月13日 2号機ベント、3号機海水注入 78
- 3月14日 3号機原子炉建屋が水素爆発 81
- 3月15日 2号機で爆発音、4号機で水素爆発および火災 83
- 3月16日 火災そして白煙 87
- 3月17日 へりから海水投下 92
- その後……レベル7へ 95

第3章 今回の原発事故は天災ではなく人災である 103

- 今回の事故対応で、最大のミスとか何か？ 105
- リーダーシップをとるべきは誰だったのか？ 107
- 「想定外」の一言で許されているのか？ 111

- 東電は大地震、津波が来ることを知っていたのでは？ 113
- 地震の規模から津波被害の大きさを想定できなかったのか？ 116
- 国際評価尺度「レベル7」の判定は適切か？ 117
- 政府、東電にウソはなかったのか？ 120
- フランスの危機管理の学ぶべきものは何か？ 125
- ドイツの危機管理に学ぶべきものは何か？ 130
- オランダの危機管理に学ぶべきものは何か？ 132
- 今回の事故は天災なのか、それとも人災なのか？ 134

第4章 これから訪れる危機 139

- 汚染地域には今後10年、立ち入りできないのか？ 141
- 1号機には十分な安全対策がなかったのか？ 143
- 福島第二原発、女川原発はなぜ事故を免れたのか？ 147
- 浜岡原発は、やはり危険だったのか？ 149
- 浜岡原発の緊急時対応は大丈夫なのか？ 153

第5章 それでも原発は必要である 157

そもそも原子力発電所とは？ 159

それでも「原子力はクリーンなエネルギー」なのか？ 161

なぜ日本は電力供給を原子力に頼ってきたのか？ 163

人類は原子力依存から逃れられるのか？ 165

太陽光発電、風力発電は原発に代わられるのか？ 167

第6章 想定外を想定する叡智 171

おわりに 217

巻末資料 日本の原子力発電所 219